

地域一番店が避難先で事業再開

～『いわき檜葉村ふれあい広場』～

【 福島県いわき市平上荒川字後沢地区 】

名 称 : 檜葉町・上荒川応急仮設店舗 いわき檜葉村ふれあい広場

所 在 地 : 福島県いわき市平上荒川字後沢33番地2他

種 別 : 仮設店舗

延床面積 : 182㎡

入 居 者 : 食品小売業、理美容業等、(避難元:檜葉町)

区 画 数 : 8区画

建物構造 : 軽量鉄骨造1階建て3棟

事業開始 : 平成23年10月20日

完 成 : 平成23年12月8日

供用開始 : 平成23年12月8日

福島県檜葉町は、福島第一原子力発電所事故により町の大半が警戒区域（一部緊急時避難準備区域）に指定され町民が避難を余儀なくされた。

檜葉町は、いわき市平上荒川に整備された檜葉町の仮設住宅住民の利便性向上のため、商工会が中心となって仮設店舗整備を中小機構に要望した。

この仮設店舗には地域一番店だったスーパーをはじめ、理容業、美容業、パン屋が軒を連ねて営業することで、近隣に商業施設のない仮設住宅の利便性向上に大きく貢献している。

